

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州環境メッセ2022の開催
事業主体 (連絡先)	南信州環境メッセ2022実行委員会
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,267,511 円 (うち支援金: 4,000,000 円)

事業内容

ゼロカーボン・SDGs社会の実現に向けて、再生エネルギーの普及や循環型社会構築の機運を高めると共に、民間企業や活動団体、住民や行政など多様な主体が協働して地球温暖化対策に取り組む環境先進地域づくりを目指したもの。

日時 令和4年11月5日、6日 2日間

会場 エス・バード(飯田市座光寺) 来場者2,163名

内容 開催記念シンポジウム、ブース出展、各種体験講座、環境映画上映、アトラクション、ブース紹介のオンライン配信



【南信州環境メッセ2022屋内会場の様

【目標・ねらい】

事業効果

①会場の屋内外に様々なブースが出展され、出展者、来場者間の情報交換の場となった。また、シンポジウムや子ども向けの体験講座など、幅広い世代を対象に環境の関心を高める機会にでき、2,163名の来場者があった。同時にYoutubeでの配信を行い、1月時点で907回(去年は2月時点で615回)の再生回数があった。

②商工会議所や金融機関の後援や協力も受けながら、出展募集を行い、開催趣旨に賛同いただいた企業(57団体)に出展、参加してもらうことができた。

③NPOや環境活動団体以外に、管内の3つの高校の生徒がブース出展やシンポジウムでのパネリスト出演などで活躍した。コロナ感染対策についてはイベント事業者も使って、受付や会場レイアウトなどに予防策を講じて開催できた。

①ゼロカーボン・SDGs社会の実現に向けた協働取組と普及啓発

②環境をテーマとした地域経済と連携した見本市の開催や企業と小中学生を結ぶ場の整備

③出展募集により多様な主体が集うポストコロナ型イベント実施

※自己評価【A】

【理由】

2年目の開催として、出展募集を行って、企業や学生を含め様々な主体の参画により実施することができた。来場者も目標を上まわり、オンライン配信の視聴もあり、開催趣旨も周知することができた。

今後の取り組み

反省と課題点を改善して、次年度以降も継続的に開催が出来るように実行委員会の体制も強化して開催を検討していく。出展者も来場者の増加を目指し、リニア・三遠南信時代に県外からも訪れる機会のひとつとなるよう内容を充実させ、ゼロカーボン活動を推進して「環境先進地・南信州」を目指していく。